

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治

■ 一般質問・常任委員会質問など



牧田 俊之 議員

「火災発生件数」と「査察(消防立入検査)」について質問し、予防啓発のためにメール配信による情報展開について、関係部署と検討を進めると答弁がありました。また査察については違反対象物の公表に対して平成30年または31年実施を別途に準備を進めると前向きな答弁がありました。「猫の飼育放棄対策」については飼い主などのモラル向上の講演や譲渡会などのイベントの内容を確認し協力を検討したいと答弁。「JR北海道単独維持困難路線」について質問、東胆振1市4町の枠組みで意見交換すると答弁がありました。「自動走行大規模実証試験場」の苫東地区への誘致活動については、北海道と連携して取り組んで行くことと答弁がありました。



首藤 孝治 議員

一般質問で子育ての充実を図るため、放課後児童クラブの運営状況を確認し、植苗地区にクラブがないことを指摘、植苗地区は今後、地区計画を定めることで住宅などを増やし地域コミュニティの維持を図る計画ができ、道営住宅の建設案などもあることから、率先してクラブを設立し、この地区に人を集める努力をするよう求め、また、児童センターは市内に6カ所あるも全所的に網羅されていないことを指摘し、センター設立には多額の費用が掛かるため、学校教室を利用したセンター設立を求め、また、公共施設での一時預かり保育の創設を求めました。港湾での防災対策では、緊急避難設備が不備であることを指摘し、沿岸部各所にパトライト付き緊急避難スピーカーの設置を求めました。その他、スケートのまち苫小牧について質疑しました。



越川 慶一 議員

オリ・パラ参加国の

ホストタウンを目指して！

Q. 苫小牧市もオリンピック・パラリンピック参加国との相互交流を図り、地域活性化や観光振興などにも繋がる可能性があるホストタウンを目指すべき。

A. 参加国の受け入れに対し可能性を考えてきたところ。現在は苫小牧市に興味を示している国もあり、ホストタウンの登録に向けて交渉を進めたい。

全小中学校にオートロックを！

Q. 学校への不審者侵入防止の観点から、全小中学校にオートロックと防犯カメラの設置を求める。

A. 30年度までに計画的にオートロックを整備する。改築予定がある4校は改築に合わせて32年度までに整備する。その後、防犯カメラの整備についても検討する。



松井 雅宏 議員

総務委員会では、中心市街地活性化を目的としたCAPPプログラムパート3(2017年度～2019年度)の素案が報告され、本計画の特徴として掲げている若い世代や子育て世代をターゲットとした施策に交流人口増を狙った事業は記載されている一方、若者の居住人口増の環境整備や対策が盛りされていないことを指摘した上で今後の検討と取り組みを求めました。さらに現在の居住対策としている新設の集合住宅建設補助制度が、十分に活かされていないことを指摘し、対象区域の拡大と要件緩和をすることを求めました。

また、安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会では、芸術的な観点よりも社会的価値を掲げる市民ホールづくりの理念を分かりやすく市民議論に活かしていくことを求めました。